

チドリ

Lesser sand plover / *Charadrius mongolus* / Medai-chidori / メダイチドリ

体長 18～21cm のメダイチドリは他の小型のチドリと同様に、砂浜や干潟、湿原で長くくちばしと長い脚で餌をとる。茶色い胴体と翼をもち、首と胸は鮮やかなオレンジである。春と秋に群れになって渡り、奄美大島には冬季に見られる。メダイチドリの餌は昆虫、甲殻類、ミミズなど。他の渉禽類と違い、地面を探すのではなく、独自の走って止まる手法で狩をする。

Pacific golden plover / *Pluvialis fulva* / Munaguro / ムナグロ

奄美大島で越冬する渡り鳥で、沿岸部に数羽の集団で見られる。日本ではよく見られる中型のチドリで、体長は 23～26cm、頭部は小さく、金色を帯びた羽を持ち、大きな翼で長距離を飛ぶことができる。ムナグロは渡りのコースで知られており、北極圏の繁殖地から 1 万 2 千 km も南下するものもいる。繁殖期は胸元が黒く、冬になると薄い褐色になる。ムナグロは昆虫や甲殻類、爬虫類、種子や果実をも食べる。